

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学部	
科目名称 [英語名称]	事前・事後指導 [Guidance for Practice Teaching]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	421110	授業形態	講義	単位数	1	配当学年	3-4年次	
教員氏名	岩田 賢士				学位授与の方針 との関連	DP1(1)(2)・2(1)・3(1)(4)		
授業概要	<p>教育実習は、大学における教育課程の集大成として実施されるものである。今まで学んできた専門的教科や教職課程における教科・科目を通して身に付けた知識・技術や教師として必要な資質を、教育現場で実践し統合する最初の機会である。</p> <p>教育現場では、学習指導・生徒指導・特別活動・クラス経営・部活動・校務分掌等と教員の仕事は多岐に亘るため、事前指導においては、これらの内容について熟知し周到な準備をすることが重要で、特に教育実習生にとって負担の大きい学習指導要案作成、研究授業に向けた準備を重視している。また、事後指導としては、教育実習を振り返り、教員としての自分の資質を反省し改善点を探求し、将来の教師像につなげる物とする。</p> <p>35年間の高校教員としての実践経験を生かし、学生に適切な助言・指導を実施する。</p>							
関連する科目	教育実習・中等教科教育法(農業・理科)・特別活動論等の上に実践する。							
授業の進め方と方法	<p>○一斉授業・・・各講義資料を使って授業を進める。状況に応じてディスカッションをする。○体験談発表・・・先輩の教育実習体験談を聴く。○模範授業・・・自分自身の模範授業の実施、先輩もしくは同級生の代表による模範授業の実施。 ※一年半の期間を活用して、教育実習に行く前の準備、教育実習に行つての反省を行い、教師としての資質を向上させる。</p>							
授業計画	<p>I 3年生後期</p> <ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 4年生による模範授業 模範授業 I 模範授業 II 教育実習日誌の書き方 教育実習伝達講習会 4年生とグループを作り教育実習に関する意見交換をする。 <p>II 4年生前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 教育実習に臨んで①:直前に迫った教育実習への心構えやマナーについて再度確認をする。 教育実習に臨んで②:挨拶・お礼状など文面の作り方や書き方を学ぶ。 教育実習への心構え(健康管理なども含む) 学習指導案の書き方:今までの復習と確認 模範授業①:既に実施して来たが、代表者の模範授業を見て、確認をする 模範授業②:①に同じ。 <p>III 4年生後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 教育実習の反省:自分の教育実習をもう一度振り返り反省すると共に、整理をする。 教育実習伝達講習会:3年生とグループ討議をして自分の体験談を伝える。 教育課程のまとめと将来について 							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 3年生後期 <ul style="list-style-type: none"> 来年度に迫った教育実習に対する心構えを構築すると共に、それに向けての諸準備ができる。 4年生前期 <ul style="list-style-type: none"> 教育実習直前として、教育実習生としての具体的な心構えや振る舞いができる。 学習指導案・教育実習日誌の作成・記載がきちんとできる。 社会人としての挨拶・学校並びに先生方に対する礼状が書ける。 4年生後期 <ul style="list-style-type: none"> 自分の教育実習を反省し、将来の教員として何が必要かを考えることができる。 							
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> 教育実習に備えて日頃から時間厳守・提出物の厳守・言葉遣い・服装容儀・礼儀作法等を意識して生活する。 規則正しい生活を送ることを心掛け、社会人としての社会生活に支障がないようにしておく。 教育実習に行った際に困らないように、今まで学んだ教養・教職・専門科目の復習をしておく。 長期休業中を利用して、教育実習校に挨拶に行ったり、電話・手紙等を活用し教育実習に必要なことを調整しておく。 お礼状を書くための文章事例を調べておく。 教育実習体験談発表で、後輩に何を伝えるべきか、しっかりと整理しておく。 ○上記の内容について20時間の学習を行う。 模範授業の練習等を時間外に実践する。(10時間) ※事前事後指導は、1単位の講義なので、講義外に30時間以上の学習を行うこと。 							
課題に対するフィードバック	○提出レポートの評価 ○教育実習との対比 ○模範授業でのコメント	評価方法			①平常点・・・出席の状況や授業中の態度等 ②レポート点・・・課題レポートの提出状況 や内容評価 ③発表点・・・各発表の内容・発表態度 ※この科目の成績は教育実習の成績に加味される			
テキスト	吉田昇「教育実習ノート」学文社							
参考書	文部科学省「中学・高等学校学習指導要領」							
備考								